

練馬区の約半分は住宅地であり、住宅地のみどりが練馬のみどりを支えています。一方、敷地の小規模化やみどりの管理に対する負担から、これらのみどりは年々減少しています。

「練馬区みどりの総合計画」では、宅地の沿道緑化を進めることとしており、小さなスペースでもみどりを愉しむ「ねりま流ガーデンライフ」の提案や、緑化だけでなくその後の管理までをサポートする仕組みづくりに取り組んでいます。

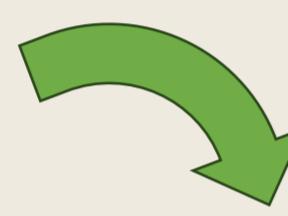


練馬区みどりの
総合計画はこちら

小さなスペースでもみどりを愉しむ わりま流ガーデンライフ

玄関まわりの小さなスペースでも、工夫しながらみどりを愉しむ「ねりま流ガーデンライフ」を提案しています。

令和7年5月発行のパンフレットでは、新しく緑化を始める方、新たな緑化区画を作る方向けに、ご自宅でのみどりの愉しみ方、おすすめの樹種などを紹介しています。



また、パンフレットでは実際に緑化に取組む区民のコメント、緑化例を掲載し、「自分もやってみよう」という気持ちを後押ししています。



パンフレットで紹介している区民の緑化例

パンフレット
「ねりま流ガーデンライフ」

パンフレット
掲載ページ
はこちら



緑化助成制度の見直し

区の緑化助成制度も、小さなスペースの緑化でも活用できるよう見直し、令和7年度からは中高木1本からの緑化や、大型プランターによる緑化が助成対象に加わりました。



緑化見本の展示や
制度PRを行っています

身近な園芸相談でみどりの維持管理を支援 「練馬区協力店」

区民の皆さんご自宅のみどりについて相談ができる園芸店等を「練馬区協力店」(練馬区植栽管理相談協力店)として紹介しています。

区では従来から、光が丘の「四季の香ローズガーデン」において園芸相談を実施していましたが、協力店制度によって、より身近なところで、気軽に相談が可能となりました。令和8年1月現在、園芸店が4店舗、造園事業者等が2団体登録されており、区HPなどで紹介しています。また、協力店では日頃からパンフレットの配布など、区の緑化に関する広報にも協力をいただいているいます。



目印となるのぼり旗



練馬区協力店
紹介ページは
こちら

協力店のみなさんにお聞きしました!

Q ウメの木にアブランシがついています。どうすればいいですか?

A 少ないときは、歯ブラシで取るのがよいでしょう。多いときは農薬もありますが、注意点があるので、お店で使い方を聞いてから使いましょう。

内田園芸 内田さん

Q ガーデニング初心者です。庭の中心となるようなシンボルツリーには、何がおすすめですか?

A 軽やかな見た目の丈夫な樹木を選びましょう。目隠しには、オリーブや常緑ヤマボウシがおすすめです。

渋谷園芸 伊藤さん

Q 大型の鉢やプランターで樹木を育てる場合は、どんなところに気を付けるといいですか?

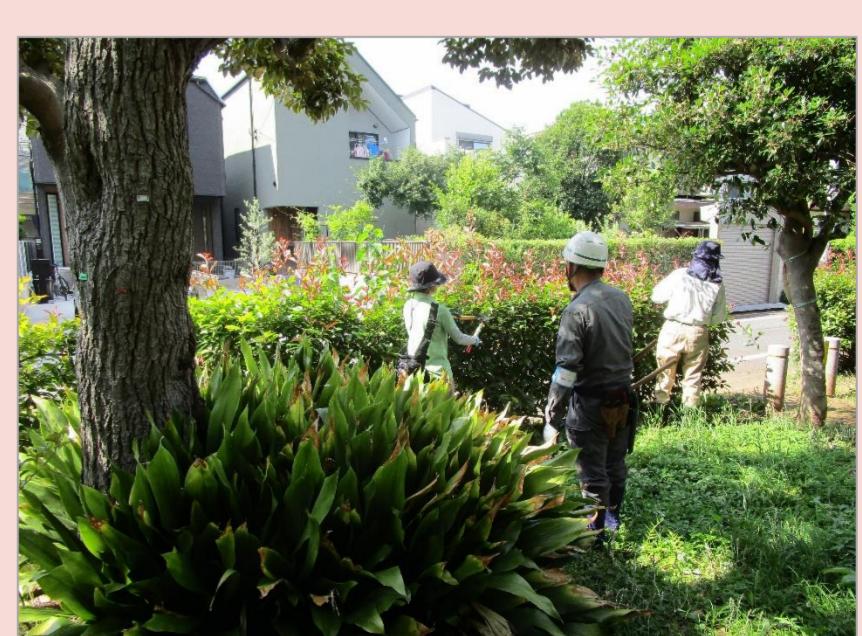
A 鉢の中が根でいっぱいになると、良い成長ができます。2~3年に一度、大きな鉢に植え替えましょう。大きな鉢でできないときは、根や枝を切って植え直すことが必要です。

庭樹園 杉下さん

ねりま区報(令和7年6月1日号)より

プロから知識を学ぶ 剪定講習会

造園事業者を講師に迎え、庭木の剪定や生け垣の刈込を実習形式で学ぶ「剪定講習会」を、令和7年度は4回開催しました。庭木の手入れに必要な基礎知識を学ぶ講義に加え、参加者自身が剪定作業を行う実技の時間を多くとっています。



講習会の様子